

櫛池地区 将来ビジョン2



令和2年3月 一般社団法人 櫛池農業振興会

櫛池地区将来ビジョン2は、北陸農政局関川用水農業水利事業所の許可を得て、以下の事業の報告書の一部を編集して使用するものです。

初代の櫛池地区将来ビジョンは、平成27年度から令和元年度までの5年間、農村集落活性化支援事業により国の支援を受けながら櫛池農業振興会が作成し取り組みの基礎としてきました。

櫛池地区将来ビジョン2は、その後継として一般社団法人櫛池農業振興会が活用して事業に取り組みます。期間は令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

なお、初代の櫛池地区将来ビジョンについては、**櫛池地区将来ビジョン1**として引き続き活用していきます。

一般社団法人 櫛池農業振興会
代表理事 上原清則

- (1) 業務名: 令和元年度 関川用水農業水利事業
関川用水地区関連事業モデル構想策定(その2)業務
- (2) 業務期間: 着手 令和元年 7月29日 完了 令和2年 3月27日
- (3) 業務目的: 本業務は、国営関川用水土地改良事業に関連するモデル地区を対象に広域連携による集落活性化に向けた調査、検討及び地元を交えた検討会実施の調整を行うとともに、これらの検討過程等の整理を行うものである。
- (4) 業務内容: ①現地調査 ②広域連携の再検討 ③検討会の実施に向けた調整、内容の整理
④総合検討 ⑤点検取りまとめ
- (5) 発注者: 北陸農政局 関川用水農業水利事業所 〒943-0154 新潟県上越市稲田1-1-7
- (6) 受注者: 一般財団法人 日本水土総合研究所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-21-17

目 次

1. ビジョン2の目的	・ ・ ・ ・ ・ P. 1
2. 櫛池地区の概要・魅力	・ ・ ・ ・ ・ P. 2
3. 櫛池地区の計画	・ ・ ・ ・ ・ P. 3
4. 課題	・ ・ ・ ・ ・ P. 4
5. 具体的な取組	・ ・ ・ ・ ・ P. 5
(1) 農業の省力化（圃場整備、スマート農業）	・ ・ ・ ・ ・ P. 5
(2) 園芸・畜産	・ ・ ・ ・ ・ P. 8
(3) 6次産業の強化（販売、加工）	・ ・ ・ ・ ・ P.11
(4) 担い手・人材確保	・ ・ ・ ・ ・ P.14
(5) 地域資源の有効活用、関係人口の増加	・ ・ ・ ・ ・ P.16
6. 今後の取組	・ ・ ・ ・ ・ P.21
7. 関連事業	・ ・ ・ ・ ・ P.22

1. ビジョン2の目的

- 課題を共有し、 → ■ 取組方針を踏まえて → ■ 実現可能な取組を共有
 ■ 今後の活動・計画に活用

課題の把握

具体的な
取組

取組方針

- ・ 小さな成功・失敗を積み重ね、最終的なゴールを目指す
- ・ リスクの小さい取組、すぐできる取組、コストがかかりにくい取組から始める

【櫛池地区将来ビジョン】

【清里一農場化計画】

①農業の
省力化

ほ場整備

スマート
農業

②園芸・畜産

個人経営の
法人化

⑥集落維持

④担い手
確保

③6次産業の
強化

⑤地域資源の
有効活用

⑤都市交流・
関係人口増加

6～10年後

3～5年後

～2年後

小さな失敗 小さな成功

小さな成功

小さな失敗

2. 櫛池地区の概要・魅力

- ① **位置** 上越市清里区の最も山間（標高90～490m）に位置
- ② **集落** 櫛池川両岸に11集落が点在
- ③ **気象** 積雪が2～3mに及ぶ豪雪地帯。最大4m63cmを記録
- ④ **農業** 棚田が約200ha。85%が10～20aで整備（S51～H1）
- ⑤ **人口** 589人（211世帯）高齢化率43.8%（平成31年3月末）
- ⑥ **地域資源**

【自然】 坊ヶ池、棚田、信越トレイル、くびき野パノラマ街道

【施設】 星のふるさと館、ビュー京ヶ岳、櫛池隕石公園

直売所 ^{みちくさ}未知草（ばあちゃんの家）

【イベント】 清里山菜フェスタ、清里そばまつり

田植・稲刈ツアー、きよさと朝市

サマーカーニバルきよさと坊太郎祭り

スターフェスティバル

櫛池隕石落下100周年（令和2年9月16日）

えちご・くびき野100kmマラソンが清里区の一部を通過



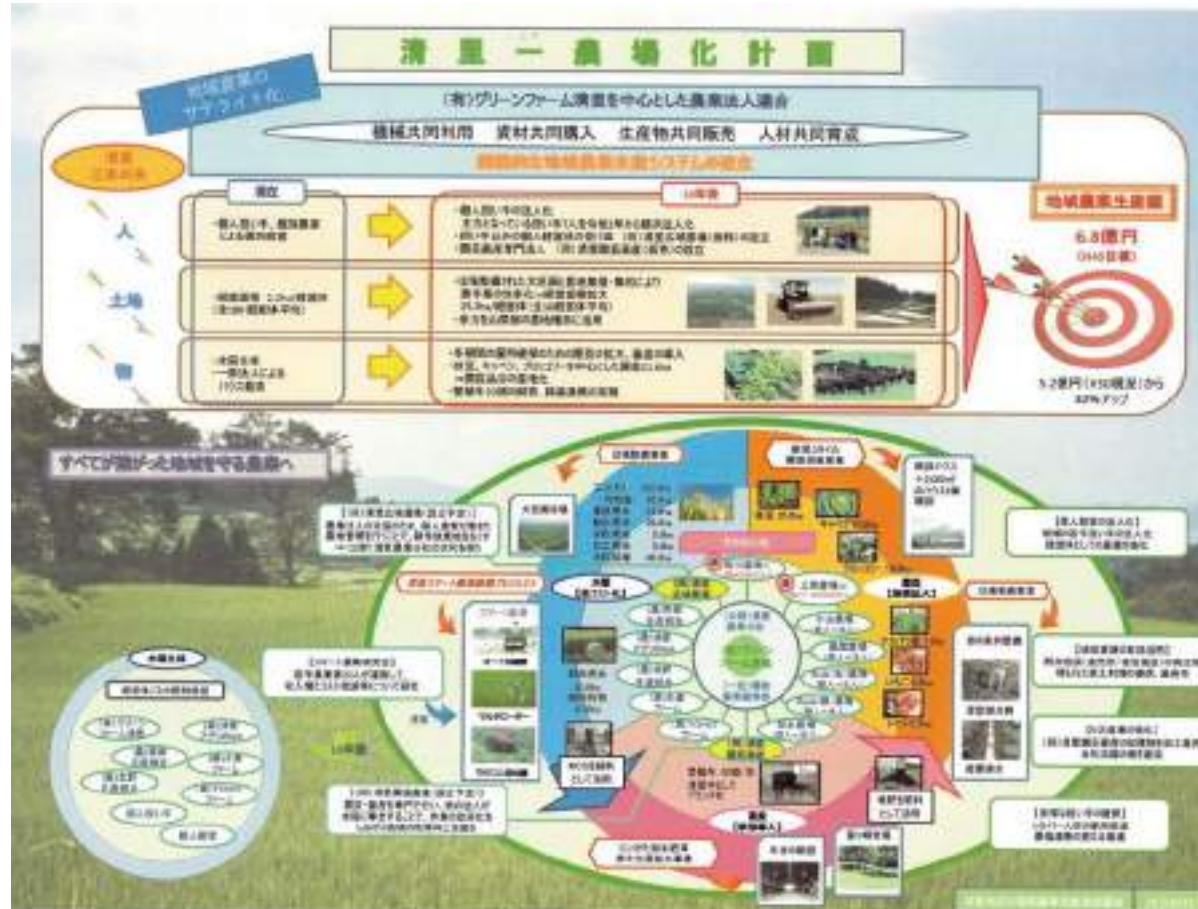
3. 櫛池地区の計画

■ 中山間地の櫛池地区と平場の菅原地区は、作業連携に先進的に取り組んできた地区
地域でコミュニケーションを図り、法人間で耕作地の集積を進めている

※人材の共同育成等、「特定地域づくり事業推進法」(総務省)に先行した取組が検討されている

【地域で考えた計画】

- ・ 中山間地は人が少ないため、平場と中山間地で人が行き来して助け合う
 - ・ 清里区の平場と中山間地で一丸となって地域の活性化を図る
 - ・ 平場の圃場整備事業で生まれた労力を中山間地の維持に活用する
- 清里一農場化計画



4. 課題

テーマ	課 題
①農業の省力化 (ほ場整備) (スマート農業)	・草刈、水管理の省力化を図りたい。 ・中山間地向けのスマート農業機械が必要。 ・電柱や反射鏡等の構造物がトラクター装着式草刈機での作業の支障になっている。 ・中山間地では大規模法面下で水が湧いてぬかるむため、排水路整備が必要。 ・用排水路の目地が劣化して漏水し、法面が崩れる原因となっている。 ・耕作放棄地を出さないためには、機械化が進んでいる水稲作が最も労力負担が少ない。
②園芸・畜産	・園芸作物の品種選定等は、ほ場整備計画の進捗に合わせて具体化していく。 ・米の消費量が減っている中、冬場の雇用・仕事の確保やリスク分散のために、園芸の必要性を認識している。 ・人がいない中で園芸をやれば、水田が疎かになる。 ・あるん畑では、2割程度の野菜を外部から仕入れており、地元産の野菜が求められている。 ・水稲の作付が困難な農地等で、耕作放棄の発生を防止するためには、山菜やそば等の栽培が必要。 ・この冬の積雪が少なく、イノシシの増加と増加に伴う被害が懸念される。
③6次産業の強化 (販売、加工)	・ふるさと宅配便の販売を拡大したい(H30注文実績:39) ・みそ製造の麴や乾燥したおからで何か作りたいが、人手が足りない。 ・隕石落下100周年イベントに合わせた商品化等のための、今すぐ使える地域の予算支出は難しい。 ・既存直売所の来客の半分は外部から来ている。板倉区や牧区を巻き込んで、新たな直売所を設けてほしい。
④担い手・人材確保	・ハローワークで募集しているが、なかなか人が来ない。 ・複数の法人で共同して雇う等の検討が必要。 ・農業法人の経営者として期待していた人が、定年延長で戻ってこない。 ・集落営農の一部が70代～80代のため、もうすぐ人手不足に陥る。 ・農業法人への就職者はいるが、集落内への移住者は少ない。集落内の空き家を活用できていない。 ・若い人材に地域に定住してもらうためには、4Kテレビ視聴やインターネット利用等の環境が求められる。
⑤地域資源の有効活用、都市交流・関係人口増加	・星のふるさと館とビュー京ヶ岳の連携したイベントもあるが、なかなか人は来ない。 ・ビュー京ヶ岳の運営に市の支援がなくなる可能性がある。温浴施設が故障している。 ・都市との交流がなかなか進展しない。 ・体験ツアーの参加者はリピーターがほとんどで、新しい参加者がいない。 ・今年9月に隕石落下100周年イベントがあり、連携を考えたい。
⑥集落維持	・高齢者宅の屋根の雪下ろしが困難になっている。 ・高齢者等の交通弱者に対する買い物支援が求められている。

5. 具体的な取組（1/16）

（1）農業の省力化（圃場整備、スマート農業）（1/3）

5

- ・ 清里スマート農業挑戦プロジェクトを通じて、将来導入する機械の大きさや性能に合わせて、道路幅や進入路形状について検討し、ほ場整備へ反映
- ・ 令和2年3月発行の「自動走行農機等に対応した農地整備の手引き」も参考に検討を進める

■ ほ場整備計画（北野地区、清里第一地区）

令和2～4年調査(目標)

令和5年事業採択(目標)

令和6～10年工事(目標)

※時間を要する

○自動走行農機（全て自動化：＋350～400万円）

- ・トラクタ：販売中
- ・田植機：令和2年10月頃予定
- ・コンバイン：販売中

低価格化

中山間地向けの
中型・小型の自動走行農機の開発・販売
【開発はこれから】



- ・直進機能のみ：GPS　　＋約50万円
AI画像解析　　＋約50万円

■ ほ場整備計画の留意点

- ①自動走行農機が通行できる**進入路形状、道路幅を確保**する
- ②ラジコン式草刈機が畦畔等に移動するための**アクセス道路を確保**する

5. 具体的な取組 (2/16)

(1) 農業の省力化 (圃場整備、スマート農業) (2/3)

- ・ 草刈機導入による省力化に向けて、法面勾配や排水路整備等の検討を進める

■ ラジコン式草刈機を考慮した法面勾配

- ・ 草刈機は、 $35\sim 40^\circ$ の傾斜に対応可能
- ・ 法面勾配 $1:1.2=40^\circ$, $1:1.5=34^\circ$, $1:1.8=29^\circ$
- ・ 40° を超える法面では、手押し式やワイヤーウィンチ式で対応可能



※島根県の農地整備の事例



①草刈り機全景 ②ほ場脇の杭にワイヤー取付



③草刈り開始 (遠隔操作)



④急斜面を走行



⑤草刈り完了後

■ トラクタ装着式草刈機を考慮した標識等構造物周辺への防草シート設置

- ・ 草刈の機械施工の支障となる電柱や標識等の周辺に防草シート設置 (中山間地域支払交付金支払等の活用を検討)



※富山県の事例



標識の周りに防草シート設置する

■ 大規模法面下の排水路整備

- ・ 長大法面の法尻に $\phi 300\sim 500\text{mm}$ 程度の有効管を設置し、ほ場の泥濘化を防止
- ・ 暗渠上部を管理用地とし、草刈の機械施工に利用



【トラクタ装着式】

【重機装着式】



※島根県の農地整備の事例

■ 用排水路整備

- ・ 軽量で、継ぎ手がズレにくい樹脂製水路を選定



5. 具体的な取組 (3/16)

(1) 農業の省力化 (圃場整備、スマート農業) (3/3)

7

- ・ 各種スマート農業機器を、まずは試行的に導入し、有効性を確認する

■ ドローンによる農薬散布

- ・ 10リットルタンク搭載し1haを15分で飛行。
- ・ 座標入力により一定高度で自動飛行



出典:マイナビ農業「炎天下の作業負担を軽減! 田んぼに入ることなく、ドローンでカメムシ防除」

■ ラジコンボートによる農薬散布

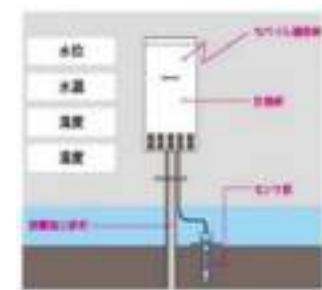
- ・ ドローンより手軽に農薬を散布できる
- ・ 重量10kg程度と軽量で、女性や高齢者でも運搬が容易



出典:イームズロボティクス株式会社ホームページ

■ 水位計 (遠隔監視)

- ・ 職場から、給水状況やほ場データを把握。
- ・ 見回り時間、燃料費、人件費を削減。
- ・ レンタルにより保管の課題を解消。



出典:ほ場レベルでの営農作業省力化技術の紹介(北陸農政局)

■ カメラ (遠隔監視用)

- ・ 生育状況確認、鳥獣害対策、盗難防止。
- ・ 生育状況を米購買層に見せることにより、親近感がわき、購入意欲が高まる。購入者は安心感を得る。



・ 乾電池で1年間動く
・ スマートフォンで見られる
出典:ベジタリア株式会社ホームページ

5. 具体的な取組 (4/16)

(2) 園芸・畜産 (1/3)

- ・あるるん畑や道の駅あらいと、不足や売れ筋の情報共有を強化
- ・地元企業（岩の原葡萄園等）と提携し試行（例：ワイン用ぶどうの栽培）

■「あるるん畑・道の駅」の要望

- ・秋のにんじん等、不足している野菜があり、2割を外から仕入れているが、**すべてを地元産にしたい。**
- ・年に4回勉強会を開き、**不足している野菜や人気の野菜を紹介し、**参加者に有利情報を提供している。
- ・ハウスや山間地の気温差を利用して**時期をずらすことにより、高く販売できる。**
- ・**加工品は、変わったものより、スタンダードなものの方が数多く売れる。**
- ・売れ筋【農産品】 山菜、生の落花生、雪下雪室にんじん、雪下赤カブ、雪室じゃがいも、らっきょう
【加工品】 漬物(梅干、らっきょう)、山菜の塩蔵、干しぜんまい、雪下にんじんドレッシング

表ーあるるん畑栽培カレンダーより一部抜粋



月	品目	出荷してほしい品目と時期
3月	プチベール・アイスプラント	人気が上がっています。増産をお願いします
	ブロッコリー	大きくしっかりしたものは高単価で売れます
4月	アスパラガス	早期出荷は高単価で売れます
	山菜	乾燥品や塩蔵品は年末まで良く売れます。ぜひ取組を
5月	つまみ菜	狙い目の野菜です
	スナップエンドウ	早出しでよく売れます
6月	らっきょう	来年にむけぜひ作付を計画して下さい
7月	レタス	作付け会員が少ないです。特におすすめです
8月	地場物の花卉類	盆花市でよく売れます。大量出荷を

5. 具体的な取組 (5/16)

(2) 園芸・畜産 (2/3)

9

- ・ 稲作の農作業に合わせた、シイタケ、ミニトマト、モチ加工等を検討
- ・ 稲作農家の秋～冬期の栽培事例を参考に検討

○園芸ハウスでのシイタケ栽培

- (1) 菌床納入 (3～5月)
- (2) 夏期カット (8月)
- (3) 仕上げ管理・散水等で菌床の熟度を上げていく。(9月)
- (4) 発生・収穫 (10月～)



○ハウスでのミニトマト栽培

隔離土壌栽培：耕起しなくてよいため、
苗移植後、早々に育成開始可能

<http://www.hokken.co.jp/farmers/kojin.html>

育苗ハウスを活用したミニトマトの隔離土壌栽培

○モチ加工

米販売先にセット販売できる。



<https://www.nt.zennoh.or.jp/agriculture/report/files/2901einou-3.pdf>

5. 具体的な取組 (6/16)

(2) 園芸・畜産 (3/3)

・ハウスを利用した牛の飼育を試行。新潟県の補助等を検討

■ 福井県事例「牛舎がなくても、ハウスで牛を飼う」

- ・耕作放棄地の周年放牧で若狭牛の母牛を飼育し、子牛を生ませました。
- ・子牛も周年放牧で飼育したところ、市場で約70万円で売れました。
- ※ 冬場の分娩や飼料の保管用として簡易ハウスを作りました。

- ・簡易ハウスを建て、周りにパッドックを作ります。
- ・放牧地は電気牧柵で囲います。
- 1頭当たり必要面積
- ・野草放牧地: 80～300a (草種によってばらつき大)
- ・牧草放牧地: 30a (オーチャードグラス、ペレニアルグラス等)

通常の牛舎に比べ安い簡易ハウス

- ・ハウス部品代: 62万円
- ・内装部品代: 13万円
- ・放牧パッドック部品代: 9万円
- ・工費(業者委託の場合): 23万円 計: 107万円



<http://www.fklab.fukui.fukui.jp/ts/topics/30.11.29kanigiyusha.pdf>

■ 【新潟県】和牛繁殖経営の収益向上に向けた子牛飼養管理改善巡回

- ・巡回では、子牛の体高や腹囲、測定した胸囲から推定した体重を発育基準と比較して、今後の個体の管理対策を検討

■ <参考①> 和牛繁殖雌牛増頭事業費補助金 (山形県など)

- ・肉用子牛の県内での生産基盤を強化することにより、「山形生まれ・山形育ちの総称 山形牛」の生産拡大を図るため、和牛繁殖雌牛の増頭に対して助成

■ <参考②> ICT技術を用いた管理 (研究開発段階)

- ・センサ: 自宅や外出先から遠隔で体表面温度から健康状態や発情を検知



<https://www.alic.go.jp/content/000131318.pdf>



http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/4th_laboratory/niah/2017/niah17_s18.html

5. 具体的な取組 (7/16)

(3) 6次産業の強化（販売、加工） (1/3)

11

- ・ PR方法や販売方法を見直し、販売を強化する
- ・ ふるさと宅配便のチラシ写真を見直す
- ・ スマートフォンに対応したインターネット販売を検討する
- ・ Facebook等での紹介も検討する

■ ふるさと宅配便のチラシ写真見直し

- ・ 皿に盛り付け (例：(有)きよさと)、ごはんやみそ汁も見せる等。



ふるさと宅配便



インターネット販売サイト



ふるさと宅配便



インターネット販売サイト



ごはん・みそ汁

■ インターネット販売の検討

- ・ 現在FAXで注文を受け付けているが、FAXを所有しない家が多い
- ・ 30代以下の若い世代は、スマートフォンでしか見ない
(Facebook、Instagram、Youtubeが基本媒体)
- ・ 【新潟直送計画】手数料20%
楽天市場、Amazon等に負担なしで出店可能
(有)きよさと 出店済
- ・ 【上越特産市場】手数料20%、出店料2万円
- ・ 【ポケットマルシェ】手数料15%
- ・ 【メルカリ】手数料10%



5. 具体的な取組 (8/16)

(3) 6次産業の強化 (販売、加工) (2/3)

- ・ 隕石落下100周年イベントに向けた新商品開発、既存商品の包装・名称の統一を検討
- ・ 開発中の加工品の包装・商品名を他地区事例を参考に検討 (隕石落下100周年イベントに合わせることも検討)

■ 加工の取組

- ・ らっきょうの生産加工 (櫛池振興会)
- ・ 自然薯の漬物 (北野生産組合)
- ・ 青豆のスイーツ (清里商工会) : 清豆たると



【参考】 らっきょう加工品例

(ドレッシング、ディップソース)



■ 包装や商品名を工夫して成功した他地区事例

- ・ せんべい (包装)



- ・ 枝豆 (商品名)
【オレ達のえだ豆】



■ イベントに向けた新商品開発、既存商品の名称統一

- ・ 櫛池隕石落下100周年イベント(2020年9月16日)に向けて取り組む
- ・ 櫛池にしかない「隕石」や「隕石の穴」をPRポイントにして
おいしい櫛池・清里の野菜や加工品を紹介することを検討

例：隕石の穴をイメージした商品のアイデア



5. 具体的な取組 (9/16)

(3) 6次産業の強化（販売、加工） (3/3)

13

- ・ 既存直売所（未知草）への来客の理由を把握し、直売所の改修や新設を検討
- ・ 清里商工会朝市との連携や既存施設（空き店舗）の活用も検討。

■直売所（未知草）

- ・ 来客の半分は村外（高田や直江津）からのリピーター。



- ・ 道の駅あらい、あるん畑が近くにあるにもかかわらず、未知草に買いに来る理由がある。



- ・ 「買いに来る理由」をPRポイントにした新たな直売所構想を検討する。

【例】理由：安価

⇒ 包装手間や包装資材を省いて安価に販売等



5. 具体的な取組 (10/16)

(4) 担い手・人材確保 (1/2)

・地域おこし協力隊の募集と並行して、課題毎に人材を確保し解決に取り組む

■ 副業・Wワークという形で貢献する人材をマッチング。(YOSOMON)

【事例1】ジャム販売のECサイトの現状分析、課題抽出、戦略提案を行う。

- テーマ：6次産業
- 職種：WEBマーケティング／広報
- 契約期間：3ヶ月
- 謝礼：月額5万円程度



■ 大学生のインターンシップで貢献する人材をマッチング。(Project INDEX)

【事例2】ブランドホタテを養殖する企業のFacebook等の新規フォロワーを300人増やし、SNS戦略をまとめ、従業員に引き継ぐ。

- テーマ：6次産業・PR
- 職種：マーケティング／広報
- 契約期間：1～1.5ヶ月
- 活動資金：給料・宿泊場所提供



【事例3】秋田のそばのブランド化への取組み、生産者の思い、そばを食べた人の感想を情報発信。

- テーマ：地域・6次産業
- 職種：マーケティング／広報
- 契約期間：3週間～2ヶ月
- 活動資金：給料・宿泊場所提供



■ リモートワーク・Wワーク等で貢献する人材をマッチング。(ふるさと兼業)

【事例4】国際大会で金賞をとった飛騨米の販路開拓のためのSNS活用によるファンづくり、持続的に成果を生み出すアイデア・戦略の立案。

- テーマ：6次産業
- 職種：マーケティング／広報
- 契約期間：約3ヶ月：隙間時間をベースとした参画
- 謝礼：月額1万円



5. 具体的な取組 (11/16)

(4) 担い手・人材確保 (2/2)

15

- ・地域おこし協力隊募集の簡易パンフレット(QRコード付)を、上越妙高駅、雪国マルシェ、かわさき市民祭り等の農産物販売時に配布

※現在は、Facebook、Instagram、Youtube等スマートフォンからのアクセスが基本で、ホームページはFacebook等からリンクさせると良い

- ・上越市内5地区で5名を募集中

【櫛池地区】

(業務内容) ・地域行事・イベント等への参加協力

・特産品開発、販路拡大

・都市交流の推進 ほか

(期待すること) ・農業に興味がある人
(経験者でなくても可)

・地域資源や地域の魅力を発掘し、地域と協力しながら、それらを活かした取組の企画・運営ができる人

・インターネットやSNS等での情報発信ができる人



表－上越市の現役の地域おこし協力隊員

地域	期間	活動内容
大島区 旭地区	H31年 3月～	・雪、ブナの森等をいかしたイベントや四季を通じた交流ツアーの企画・開催 ・地場産品を活用した特産品の開発・販売 ・「あさひの里」ファンクラブの創出支援
牧区 原・白 峰地区	H30年 4月～	・特産品の開発、販売強化 ・農事組合法人の事務補助、農作業支援 ・都市に住む人との交流事業 ・新規就農者の募集活動

- ・新規募集を農業高校の他、新潟県農業大学校や新潟農業バイオ農業専門学校にも広げる

- ・「特定地域づくり事業推進法」を利用した共同人材の活用を検討

- ・今までは、ハローワークで募集。これから、農業高校へ募集する予定。
- ・高校生の進路は、進学や農業以外の分野への就職が多い（高田農業高校HP進路）。
- ・新潟県農業大学校、新潟農業バイオ専門学校等から農業法人に比較的多く就職している。

5. 具体的な取組（12/16）

（5）地域資源の有効活用、関係人口の増加（1/5）

- ・ 櫛池隕石落下100周年イベントのQRコード付チラシを農産物販売等で配布
- ・ 100周年イベントで、地域のイベントのQRコード付チラシを配布し、集客増を図る

※現在は、Facebook、Instagram、Youtube等スマートフォンからのアクセスが基本で、ホームページはFacebook等からリンクさせると良い

■天文指導協力員会が、上越市地域活動支援事業（櫛池隕石落下100周年カウントダウン事業）にて活動

- ・ 2019年9月16日「99周年イベント」実施。
- ・ 2020年の「櫛池の隕石」落下100周年に向けたPR。
- ・ 隕石をテーマにしたスターフェスティバルを開催（JAXAから講師を招いての講演会、コンサート、読み聞かせ、天文工作等）
- ・ 100周年イベント及びリーフレットの検討会議（5回程度）

⇒ 天文指導協力員会と連携 ／人が来るチャンスを活かす

- ・ イベントで、新商品を販売、各種イベントのチラシを配布。
- ・ 隕石の穴カレー、隕石の穴ラーメン、隕石コロッケ等を提供。（津久志食堂との連携も検討）
- ・ イベントに向けて統一したPRができる商品が必要。（例：「隕石の穴」をキーワード）



5. 具体的な取組 (13/16)

(5) 地域資源の有効活用、関係人口の増加 (2/5)

17

- ・ 各種イベントの情報がバラバラで連携していないため、Facebook等で清里・櫛池の活動を一括して情報発信することを検討
- ・ 農産物購入者等が地域の魅力に気付きやすいよう、地域活動紹介のFacebook等のQRコード付チラシを配布
- ・ ビュー京ヶ岳の活用を検討（シャワールームのみ整備、素泊対応等）

※現在は、Facebook、Instagram、Youtube等スマートフォンからのアクセスが基本で、ホームページはFacebook等からリンクさせると良い

■ 櫛池地区と外部が交流する農産物販売等で、櫛池地区の各種イベントを幅広く周知する。

【農産物販売】

- ・ かわさき市民祭り
- ・ 上越妙高駅、有楽町雪国マルシェ
- ・ あるるん畑、道の駅あらい

【ツアー】

- ・ 田植ツアー、稲刈ツアー

【イベント】

- ・ 櫛池隕石落下100周年イベント
- ・ スターフェスティバル
- ・ 清里山菜フェスタ、清里そばまつり
- ・ サマーカーニバルきよさと坊太郎祭り等
- ・ ビュー京ヶ岳を利用したイベント

※ビュー京ヶ岳はR2年度以降、市の支援がなくなる可能性がある

→ 温浴施設を改修せず、シャワールームのみ設置し、素泊まり（3000円/泊程度）、キャンプ場（車1台1000円）等として、継続することを検討



ポスター、QRコード付のチラシ、Facebook、Instagram、ホームページで来客にイベントを周知

※現在は、Facebook、Instagram、Youtube等スマートフォンからのアクセスが基本で、ホームページはFacebook等からリンクさせると良い

5. 具体的な取組 (14/16)

(5) 地域資源の有効活用、関係人口の増加 (3/5)

- ・ マラソンコース、信越トレイル、くびき野パノラマ街道に櫛池地区・清里区をPRする看板設置を検討

- ・ 信越トレイル利用者

関田峠4400人、牧峠1200人

- ・ えちご・くびき野100kmマラソン

参加者2400人

- ・ くびき野パノラマ街道

インターネットで写真・動画を
紹介するファンが存在



5. 具体的な取組（15/16）

（5）地域資源の有効活用、関係人口の増加（4/5）

19

- ・ PRに、Facebook、Instagram、Youtubeを活用【次頁に参考例】
- ・ 清里まちづくり振興会、きよさと観光交流協会、天文指導協力員会、櫛池農業振興会、清里商工会等で1つのアカウントを運営
- ・ まずは、各団体で「Facebook更新担当者」を見つける人を1名決定する

■PRにFacebookを用いるメリット

- ・ スマートフォンで写真撮影・投稿でき、負担が少ない
- ・ FacebookとInstagramは自動連携できるため、1度の作業だけでよい。
- ・ スマートフォンでFacebook、Instagram、YouTubeを見ることが主流。
- ・ 「いいね」でフォローしてもらうことで、自動的に更新した写真がFacebookに現れるため、何気なく見てもらえる回数が格段に増える。例えば、そば祭り、新米の予約受付、漬け物・加工品の予約販売などもPRできる（ホームページだと、更新したことにすら気づかれない）
- ・ 地元団体同士が1つの大きな目標に向かって認識を統一し、1つのアカウントを運営して活動を進めるべき。お互いの相乗効果を高め、地域が一帯となっていることが伝わる。
- ・ 技術的に分からないことは外注。
- ・ 隕石落下100周年イベントも同Facebookのアカウントを通じてPRすることにより、これまで取り込めなかった科学系、天文マニアなどの層も取り込めることになる。また隕石イベントをフォローしてもらうことで、農産品の販売、イベントの紹介なども継続的に可能。

5. 具体的な取組 (16/16)

(5) 地域資源の有効活用、関係人口の増加 (5/5)

- ・ Facebook活用事例【会津いなわしろ見祢集落・結乃村】



6. 今後の取組

項目	課題 (R1)	すぐに取組 (R2)	2～3年後 (R3～4)	4～5年後 (R5～6)	6～10年後 (R7～11)
①農業の省力化 (圃場整備、スマート農業)	・草刈・水管理を省力化したい ・中山間向けのスマート農業機械の活用 ・ほ場整備	・スマート農業実証地区の高野地区の事例を勉強 ・各種スマート農業機器を試行的に導入し有効性を確認	・清里スマート農業挑戦プロジェクトの立ち上げや「自動走行農機等に対応した農地整備の手引き」等を参考に圃場整備条件を検討 ・草刈機導入による省力化に向けて法面勾配・排水路整備等を検討	・導入するスマート農業機械を検討 ・ほ場整備工事採択(目標)	・スマート農業機械購入 ・ほ場整備工事着手(目標)
②園芸・畜産	・必要性認識 ・品目未定 ・耕作放棄地対策必要 ・鳥獣害が懸念	・あるるん畑等と不足や売れ筋の情報共有強化 ・山菜やそば等を栽培する ・狩猟免許者を増やす	・試行栽培(稲の育苗ハウスを活用したミニトマト、しいたけ、ワイン用ぶどうの契約栽培実証等) ・ハウスでの牛飼育を検討・試行	・本格導入 ・畜産実施	
③6次産業の強化 (販売・加工)	・ふるさと宅配便を拡大したい ・人手が足りない ・予算支出困難	・チラシ写真の見直し ・スマートフォン対応のインターネット販売・Facebook等を検討 ・既存商品の包装等の刷新を検討 ・隕石100周年イベントに合わせた商品開発、包装の統一等	・QRコード付チラシを米等の販売で同封、農産物販売で配布 ・インターネット販売を開始 ・新商品の包装・名称検討、販売	・新たな新商品を検討、販売	・小学校廃校の活用(加工)
	・新たな直売所がほしい		・既存直売所への来客理由を把握し、改修・新設を検討	・商工会朝市との連携、既存施設(空き店舗)の活用も検討	・直売所改修・新設
④担い手・人材の確保	・人手が不足 ・協力隊の応募がまだ来ない ・ハローワークでは人が来ない ・定住のため4K・インターネット環境	・課題毎に人材を確保し取り組む ・地域おこし協力隊募集QRコード付チラシを農産物販売で配布 ・農業高校、農業専門学校、農業大学校に募集	・地域おこし協力隊制度の活用 ・「特定地域づくり事業推進法」を利用した共同人材の活用を検討 ・山間部の受信困難地域を含め、ケーブルテレビの全集落への配置を検討		
⑤地域資源の有効活用、関係人口の増加	・人が来ない ・交流が進展しない ・新しい参加者がいない	・Facebook更新担当を見つける人を決定 ・隕石落下100周年のQRコード付チラシを農産物販売で配布 ・100周年イベントで、地域のイベントのQRコード付チラシを配布 ・Facebookで一括して情報発信	・地元団体で1つのアカウントを運営 ・地域活動紹介のFacebook等のQRコード付チラシを配布 ・ビュー京ヶ岳の活用を検討(シャワールームのみ整備、素泊対応等) ・マラソコース・信越トレイル・くびき野パノラマ街道に櫛池地区・清里区のPR看板を検討		
⑥集落維持	・雪下ろし困難 ・買い物支援必要	・除雪隊(星のふるさと支え隊)活動開始 ・R2.3月末より買い物支援サービス開始			
その他	活動予算確保	・「中山間地域等直接支払制度」の棚田地域振興法に基づく加算制度の活用を検討(Facebookで清里・櫛池の活動を一括して情報発信)	・「中山間地域等直接支払制度」の棚田地域振興法に基づく加算制度を活用(商工会、まちづくり振興会、観光交流協会等との連携、買い物支援等)		

7. 関連事業

①棚田地域振興法に基づく、中山間地域等
直接支払制度の加算（1万円/10a）

1. 中山間地域等直接支払の拡充

①対象地域に「指定棚田地域」を追加

⇒ 現行の8法に、棚田地域振興法に基づく指定棚田地域(保全を図る棚田等に限る)を支援対象地域に追加。

②「棚田地域振興活動加算」(1万円/10a)の新設

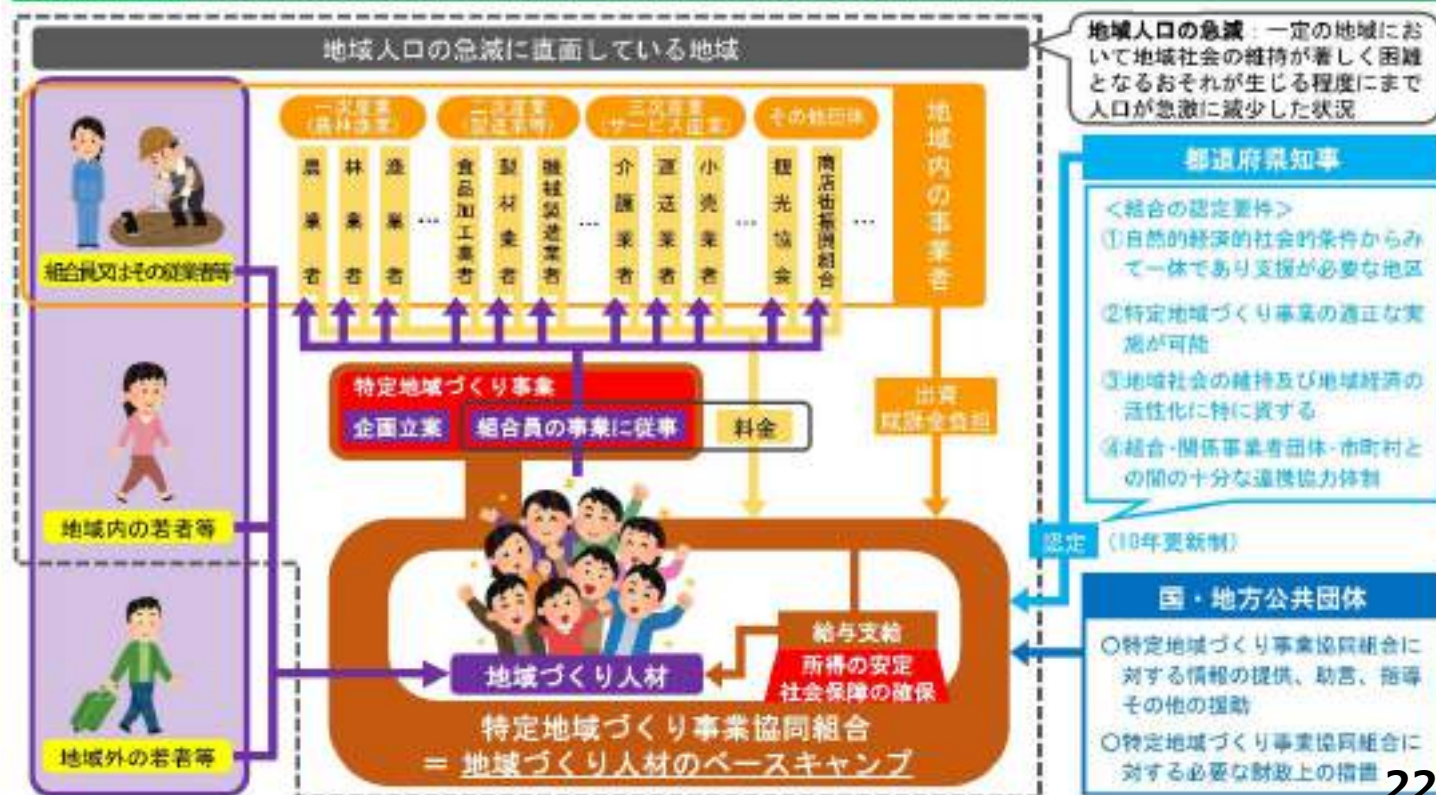
⇒ 棚田地域振興法に基づく認定棚田地域振興活動計画の対象棚田等(田1/20以上、畑15度以上)に対し、取組目標の設定・達成を要件として10,000円/10aを加算。

②特定地域づくり 事業推進法

地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律案 イメージ図

目的

特定地域づくり事業を推進し、併せて地域づくり人材の確保及びその活躍の推進を図り、もって地域社会の維持及び地域経済の活性化に資すること



櫛池地区将来ビジョン2

令和2年3月発行

発行者／一般社団法人 櫛池農業振興会

編集・制作／農林水産省 北陸農政局 関川用水農業水利事業所

一般財団法人 日本水土総合研究所